

5月19日（火）

肌寒い一日です。油断してかぜなど引かぬよう、気を付けて過ごしましょう。

昨日の一斉登校を迎えるにあたり、「新しい生活様式」を取り入れた学校生活はどうあるべきか、事前に検討を行ってきました。

本校では《感染予防対策のキーワード》をもとに考えています。

3密を避ける（密接・密集・密閉）

4絶を避ける（1m以内、対面、マスク無し、15分以上継続の会話）

具体的には・・・

- ◆登下校の仕方：登校班での歩き方、昇降口での検温確認と健康観察の実施
  - ◆教室内の座席の配置：1～2メートルの距離、教室の変更
  - ◆休み時間の過ごし方：体育館の使用割、使用する用具について
  - ◆給食の流れ：簡易給食から完全給食へ 消毒の時間確保、配膳、食事の仕方
  - ◆手洗いと消毒の徹底：手洗いと消毒の時間確保 使用物品や使用場所の消毒
  - ◆下校の仕方：方面ごと時間差を設けた下校 など
- そして

- ◆“授業”をどうするか

文科省からは、以下のような通知も届いています。

- ・感染症対策を講じても感染リスクが高い学習活動は行わないこと  
（音楽・家庭科・体育などの一部学習活動の制限、長時間のグループ活動を避ける等）
- ・年間指導計画の見直し
- ・その他、学習を行う上での3密避ける措置をとること

などなど、今までなかった多くの新たなことをやって行く必要があります。

実際に登校した子ども達は、検温もバッチリ、消毒も慣れたものです。自分の体温をはっきり言える子も多くいます。毎日の検温に感謝です。

37.5℃という数字よりも“平熱より高い”という判断基準に変わってきたことから、毎日の検温は、大人も子どももポストコロナの常識となるようです。

▲**う**がい・手洗い・手指消毒は、時間確保が課題です。

▲**マ**スク着用はバッチリですが、体育の授業や暑い季節への対策が必要です。

「社会全体が、長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち」今後も情報収集に努めながら、「正しく恐れる」を基本に取り組んでいかねばなりません。